

## 「J-聖書翻訳研究 Ver2.0」解説書

2002 年 3 月 1 月 能城一郎 noshiro@lily.ocn.ne.jp

<http://jcbr.gospeljapan.com/>

### 「Ver2.0」の特徴

Ver1.0 は、(イ)『J-ばいぶる』のアドオンであり、高度な PC リテラシーが要求されるため PC 初心者には不向きである、(ロ)JB1-3 までの購入価格が、約 5 万円とやや高価である、(ハ)「訳語研究ノート作成」可能な単語数を増やしてほしい (Ver1.0 では、登場回数 100 回以下の単語のみ)、(ニ)PC 初心者にも分かる「使い方」マニュアルがほしい、との意見が多くありました。

そこで、Ver2.0 では「原語コンコルダンス機能」「翻訳比較機能」「原語辞書機能」を割愛し、「新共同訳原語コンコルダンス・データ・ベース」の「閲覧機能」と、登場回数 200 回以下の「訳語研究ノート作成機能」の二つのみのスリムな単独のプログラミングとしました。

スリムですが、構成単語数(名詞・動詞)は、新約聖書ギリシア語が 52,070、旧約聖書ヘブル語が 85,323 であり、およそ 13 万単語の新共同訳翻訳情報と各単語の文法情報がこのデータ・ベースに含まれている。この情報量は 315MB (新共同訳聖書の百冊分)で、これを A4 用紙に印刷すると 3,000 頁(高さにして 30cm)という分量になります。

「使い方」は、別紙 (<http://jcbr.gospeljapan.com/> からダウンロード) を参考にして下さい。

#### 新共同訳原語コンコルダンス・データ・ベース搭載

### 「J-聖書翻訳研究」の設計思想

翻訳とは、単なる言葉の置き換えでなく、文化を翻訳することと言われます。聖書翻訳者は、聖書時代に関連する言語だけでなく、当時の歴史文化を研究し、さらに翻訳しようとする時代の文化や神学を考慮しつつ、読者を想定し、その訳業を進めてきています。

ですから、聖書翻訳研究は、翻訳された各時代の聖書学、キリスト教神学を比較し、現代を問い、将来を予見する「新しい聖書研究」の方法であると私は考えています。

「新共同訳原語コンコルダンス・データ・ベース」の「データ・ベース」とは何でしょうか。学術情報界では、理工学の学術情報センターを中心に数十年前から「データ・ベース化」を推進してきました。最近の医学界では、EBM (Evidence-Based Medicine) という、教育課程を含む医学の全体的な設計思想で新しい医学教育をはじめています。この EBM を実践する大学では、授業はすべてケーススタディ方式であり、その学習に欠かせないのが医学情報データ・ベースです。学生は、課題を与えられデータ・ベースから必要な情報を検索・分類・整理し、課題の解決に取り組みます。それにより細分化・複雑化した学術情報を総合的・効果的に学習することができるのです。(参考: p.114-128 「情報メディアと教育方法」加藤尚武『先端技術と人間-21 世紀の生命・情報・環境-』NHK ライブラリー, 2001 年 5 月 30 日初版)。

「新共同訳原語コンコルダンス・データ・ベース」と「J-ばいぶる」の「翻訳比較機能」を利

用し、翻訳の違いの理由を探究することにより、現代を問い、将来を予見する新しい「聖書研究」の方法が生まれます。聖書を中心としたキリスト教神学情報は、世界各国でもデータ・ベース化されています。「J-聖書翻訳研究」は、世界的ネットワークへの連結も視野に入れ制作されています。PC界では、データ・ベース構築に最適なオープンソースのLinuxが登場し話題となっています。最近、米国のプログラマーの友人から、「Linux上で、ギリシア語・ヘブル語表示ができました。Window OSに依存しなくても、聖書原語データ・ベースは制作できます。」とのメールが届きました。「J-ばいぶる」開発当初からの設計思想である、すべてのコンピュータで動く「聖書原語研究」ソフトの制作も実現しつつあります。

内村鑑三の「私の愛する二つのJ」の思想で聖書を読み実践するキリスト者がこの国に溢れることを願いつつ「J-聖書翻訳研究」をリリース致します(2001.10.1)。

開発者：能城一郎（日本コンピュータ聖書研究会 代表）

## 推薦のことば

畏友・能城一郎氏が精力的に取り組んで来られた、『J-聖書翻訳研究』が、漸くリリースの運びとなった。岩波書店の旧約聖書の翻訳で、『J-ばいぶる』に大いにお世話になった者として、新共同訳を中心に他の翻訳との訳語比較が容易となった本CD-ROMへの期待と信頼は、まことに大なるものがある。一昔前 私も『イザヤ書』を訳したほんの数年前まで ならば、一つの机では収まりきらず二つの机一杯に、各種の翻訳や辞書、それにコンコルダンスを開いて、頁をめくりつつ、一々訳語メモを作って、翻訳研究にいそんでいたのに、今やパソコン一つで、しかもクリックすれば瞬時に勉強が進み、加えて余程正確に訳語の統一が可能となった。有り難いことである。しかも初心者のために訳語や文法的説明が付いており、自分独自の訳語メモも簡単に作れる。専門家だけでなく、聖書に関心のあるどなたでも、自分なりの翻訳をしつつ、聖書に親しめる時代が来ているのである。

保守的な学者はそれでも、手作業で悪戦苦闘するところに醸成して来る真実がある、と言う。そうかも知れない。しかし、推敲し醸成を待つのは、パソコンを駆使した後でも、出来るのである。手軽さに淫することだけを自戒しつつ、進んで新時代の恩恵に浴したいと思う。(2001.9.11.)

関根清三（『イザヤ書』『エレミヤ書』岩波訳翻訳者、東京大学教授）

## サポート・サービス

サポートは、ホーム・ページ、または、電子メールで行います（無償）。

利用者へニュース・メールを適時発信致します（無償）。

利用者専用のサイトを作成し、各種サービスを行います（無償）。

利用者の研究ニーズに応じたプログラミングの開発と情報作成サービスを行います（原則として無償ですが、作業内容や依頼回数により有償となる場合があります。ご相談下さい）。

「続編」「名詞・動詞以外の品詞」は、利用者の要望に応じて開発し「新共同訳原語コンコ

ルダンス・データ・ベース」に追加致します。

神学校、聖書翻訳委員会等、10 名以上で利用される場合は、アカデミック価格を用意しております。ご相談下さい。 [noshiro@lily.ocn.ne.jp](mailto:noshiro@lily.ocn.ne.jp)

## 動作環境・価格等

ブラウザは、IE5.0 以上をご利用ください。

「解説 PDF ファイル」を読むために、Acrobat Reader が必要です。

「解説ビデオ」を PC 上で観るために、Real Player が必要です。

利用パスワード：「新共同訳原語コンコルダンス・データ・ベース」の著作権は、(財)日本聖書協会が所有しています。不正コピーや不正利用を防止する為、ネット上で「利用パスワード」を配信いたします。また、ネット上でのサポートやその他サービスを致しますので、個人の電子メール・アドレスの所有者にのみ配布致します。(参考：「社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会」<http://www.accsjp.or.jp/>)

配布価格：¥30,000 (税抜き、送料別) 初版 100 枚のみ記念価格『¥25,000 (税抜き、送料込み)』で配布致します。

聖書原語 (ギリシア語・ヘブル語) の基礎知識が必要です。

電子メール、インターネット等の IT リテラシーの基礎が必要です。

## 注文の方法

ご注文は、以下、注文表をカット＆ペーストし、必要事項を記入の上、メールでお願い致します。受信後 48 時間以内に受信確認のメールを返信致します。 noshiro@lily.ocn.ne.jp

新共同訳原語コンコルダンス・データ・ベース搭載

### 「J-聖書翻訳研究」Ver2.0 注文表

お名前：

電子メール・アドレス：

住所：〒

電話番号（クロネコで発送致しますので必要です）：

#### 配布記念特別価格

Jb1st 2000	¥9,800（税抜き）→ ¥8,500（税込み、送料込み）	特別価格で購入する
Jb2	¥15,000（税抜き）→ ¥13,000（税込み、送料込み）	特別価格で購入する
Jb3	¥19,800（税抜き）→ ¥17,000（税込み、送料込み）	特別価格で購入する

- ◆ 代金の送金先金融機関は、「UFJ 銀行」「富士銀行」「三井住友銀行」「スルガ銀行」です。
- ◆ 振込み手数料は、注文者負担とさせていただきます。
- ◆ CD-ROM が到着後、2 週間以内に代金の振込みをお願い致します。